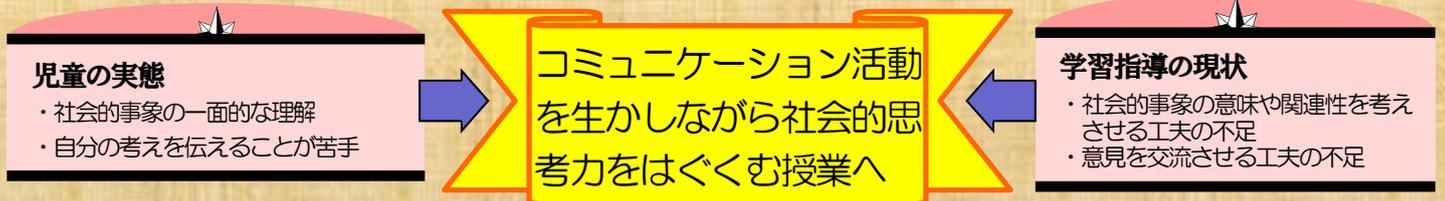


社会的思考力をはぐくむ学習指導の工夫

～社会科における課題解決的な学習にコミュニケーションゲームを取り入れて～

キャリア教育班 久保田雄三 (小学校教諭)



授業改善の視点

「社会的思考力」がついた状態とは

児童が社会的事象の意味や社会的事象間の関連性を考える中で自分の考えを構築した状態

社会的思考力をより高めていくために

児童が考えたことを伝え合うことが大切
(キャリア教育や言語活動の視点を生かす)

授業改善のための具体的な手立て

- ・課題解決的な学習を展開する。
- ・身近な社会的事象を取り上げる。
- ・複数の資料から1つの社会的事象を考えたり複数の社会的事象の共通点を考えたりすることで社会的思考力をはぐくむ。
- ・学習内容に合わせて、コミュニケーションカードを作成する。
- ・キャリア教育の視点から、児童が個々に課題追求して考えたことを伝え合うコミュニケーションゲームを行い、児童の考えを深める。

キャリア教育の視点を生かした授業実践

キャリア教育の視点からのコミュニケーションゲーム

コミュニケーションカードに書かれた文章の正誤を説明する場合の例

＜自動車工業の学習で用いたコミュニケーションカードの例＞



「このカードはOです。1980年代、自動車を外国に売りすぎたので、日本の自動車会社は外国から自動車の輸出規制を求められました。そのため、日本の自動車会社は、世界各地に工場を建設して、現地の人や現地で作った部品を使って自動車を作るようになりました。だから、このカードはOです。」
(コミュニケーション能力を高めながら社会的思考力をはぐくむ)

コミュニケーションゲーム終了後の学習活動

- ① コミュニケーションカードを仲間分け (社会的事象の意味や関連性を視覚化)
- ② 仲間分けしたカードの関連性を考える (社会的思考力をはぐくむ)

社会的事象の意味や事象間の関連を考え、伝え合う児童

＜成果＞

- 複数の資料を取りあげたことで多角的な視点から社会的事象とらえることができた。
- 資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめることのできる児童が増えてきた。
- コミュニケーションゲームを通して、個人学習時に気付かなかった社会的事象相互の関連性に気付くことができた。
- コミュニケーションゲームを通して、一人一人の児童が分かりやすい発表を工夫したり友達の発表をよく聞こうとしたりする姿勢を高めることができた。

＜課題＞

- 学習内容に合わせ、コミュニケーションカードを精選したりルールを工夫したりしていくこと。
- 資料カードを作成する際には、資料の見やすさを考慮することが大切。
- 課題追求過程での支援の仕方を工夫すること。
- 児童自らが追求したことをもとにコミュニケーションカードを作成できるようにするための方策を検討していきたい。